

ライフサイエンス分野の「国際戦略総合特区」の拠点形成を目指す

『ライフイノベーション地域協議会』を開催しました！

京浜臨海部におけるライフサイエンス分野の国際戦略総合特区の拠点形成に向けた推進主体となる「ライフイノベーション地域協議会」を、川崎市の主催する「国際競争拠点形成戦略会議」と合同で、開催いたしました。

＜ライフイノベーション地域協議会の概要＞

- 目的 総合特区計画及びその実施に関し、必要な事項について協議
- 内容 神奈川県、横浜市、川崎市の 3 団体が共同提案する京浜臨海部におけるライフサイエンス分野の国際戦略総合特区の推進主体
- 構成 別添名簿のとおり

＜開催概要＞

- 日時 平成 23 年 3 月 9 日 (水) 11:00~12:00
- 場所 川崎日航ホテル (神奈川県川崎市川崎区日進町 1)

■結果概要

出席者による意見交換を行うとともに、古尾谷神奈川県副知事、横浜市長、川崎市長から、京浜臨海部における産業集積などのポテンシャルを活かした国際的な拠点の形成に向けて、3 自治体が共同して取り組むことを表明

■主な発言

- ・ 中国、韓国では国をあげてライフサイエンスの拠点形成に取組んでいる。京浜地区は、大学、研究機関、産業が集積し、拠点形成に必要な要素を持ち合わせている。拠点形成を進めるにあたり、3 自治体が具体的な取組みを進めることで、他にない国際的な拠点形成が可能
- ・ 拠点形成を進め、実現させるためには、「知」のネットワークの形成、「人」のネットワークの形成、本気でやり遂げる意思のあるリーダーが必要

- ・ 中国、韓国、台灣などのアジアダイナミズムを取り込むこと、ファンドの形成による金融支援や、海外の優秀な研究者をひきつける研究環境、居住環境の整備などが重要
- ・ 京浜臨海部は、基礎研究から実用化までを一貫して行うことが可能なポテンシャルを持っているので、これを活用することでソウルやシンガポールといった拠点に対して独自性のある拠点形成が可能
- ・ 医療とＩＴとの融合。病気にならないための最先端の予防医療を受けられるまちを目指すといった視点が重要

■今後の予定

国際戦略総合特区の指定申請、区域計画の策定及びその実施に関し必要な協議を実施するなど計画・事業の進捗状況に応じて開催



問い合わせ先

政策局政策調整部特定政策推進課

副課長 内田 電話 045-210-3252

主 幹 柴田 電話 045-210-3265